

防府市社会福祉事業団 職員研修計画

1. はじめに

1 職員研修計画の目的

職員研修は、「目指すべき職員像」の実現に向けて、職員の能力開発及び勤務能率の向上を図り、もって施設利用者のニーズに沿った質の高いサービスを提供するために、より効果的な「人材育成」を行うことを目的とします。

2 職員研修の基本方針

(1) **情熱と倫理性を養う研修** 厳しい労働環境の中にあっても、福祉施設従事者としての温かい心と情熱を保ち続けるとともに、福祉専門職としての個人の尊厳保持を基本とした倫理観を身につけることができるような研修を行います。

(2) **社会福祉の動向に対応し実務に役立つ研修** 社会福祉の当面する課題や新たな福祉の動向を踏まえて、個々の福祉現場に対応できる専門的知識・技術とサービスの向上を図るための実践的な研修を行います。

(3) **自己啓発や職場内研修を促す研修** 個々の職員が常に自らを高める問題意識を持ち、自主的・主体的に学ぶことを促すとともに、各職場における職場内研修を促す研修を行います。

(4) **組織活動に役立つ研修** 組織を構成する一員としての自覚と意識を高め、施設運営における円滑な協力・連携関係を促し、各職場における問題解決の方策や課題形成のあり方を学ぶ研修を行います。

2. 目指すべき職員像と求められる能力

本事業団では、以下の職員像および能力を育成目標として研修を実施します。

1 目指すべき職員像

1. 高い倫理観をもった職員

- ・利用者の尊厳を守り、法令を遵守し、誠実に業務に取り組む職員

2. 利用者の立場で考える職員

- ・常に利用者の視点に立ち、ニーズに寄り添った支援ができる職員

3. 挑戦する職員

- ・現状に満足せず、サービスの質向上に向けて主体的に行動・改善できる職員

2 職位ごとに求められる能力

キャリアパスの段階に応じて、以下の能力開発を目指します。

	項目	職務等級					
		1級	2級	3級	4級	5級	6級
1	業務遂行能力（基本的な知識・技術、安全管理）	○	○				
2	コミュニケーション能力（報告・連絡・相談、チームワーク、利用者との対話）	○	○				
3	指導・育成能力（部下や後輩へのOJT、リーダーシップ）		○	○	○		
4	組織経営能力・問題発見能力（リスク管理、業務改善の提案）			○	○	○	
5	マネジメント能力・コスト意識（効率的な業務運営、収支の理解）				○	○	○
6	法令遵守・専門知識（業務に関連する法令、制度の精通）	○	○	○	○	○	○